

◆聞き取り調査◆

【調査日】平成26年3月2日

【話者】T.M（樺太アイヌ＝エンチウ）

※資料を見ながらの会話部分は、内容不明のため省略。

T.Mさん：話す大前提として、体験したことじゃないが…自分も聞き取りした内容もあるし勉強したのもあるので…それがすべてじゃないということを頭に入れて聞いてほしい。親は、樺太西海岸の多蘭泊というところにいた。親はここから強制移住させられ、親の親は、樺太内で10箇所以上強制移住させられてた。そういう歴史もあるから、うちのほうは余市とか小樽とか北見枝幸とか浜益とか、親戚がいっぱいいる。浜益とか厚田っていうのは、対雁にきた樺太アイヌの人たちが…漁を求めて対雁のほうから石狩の漁場のほうとか小樽、余市のほうまで出稼ぎに行った。だから、石狩アイヌの方と交流してたりしたというのがあった。先輩がたっっていうか…身内に浜益とかがいるから、そこから聞いた。

聞き手：T.Mさんの生まれはどちらですか？

T.Mさん：稚咲内。豊富。セイコーマートの牛乳の。ワッカサカナイとかワッカシャクナイと言って、飲み水がない川っていう意味。ここで生まれ育ってるから二世なの。親父たちは樺太アイヌの一世なの。

聞き手：小さいころからアイヌのことはやられてるんですか？

T.Mさん：アイヌっていう…エンチウっていう自覚は小さいときからあっても、登別とか白老とか洞爺とか層雲峡とか、どっちかという観光地のほうの人がアイヌっていう伝わりかたしてたから。稚咲内っていうのは、どっちかっていったら多蘭泊の漁業協同組合の青年を中心に村づくりをした土地なのさ。そこの人口の半分以上はアイヌなのさ。下手したら二風谷よりもアイヌの人口の比率は多かった。人口の半分以上はアイヌだった。そういうところで生まれ育ったから、アイヌであることは当たり前だった。全然違和感なく育ってた。生活の中にアイヌ文化はなく、顔、形だけ。イナウ（アイヌの祭具）とか作ったり…そういうのもなかった。飲み水のない川だから、人間の住むところじゃないところに村づくりをして、アイヌだなんだかんだ言ってる騒ぎじゃなく、生きてくことに一生懸命だった。人前で差別だとか

貧困だとかっていう話は好きじゃないんで、若い人には未来に生きてくほうが楽しいよって自分の経験から伝えていきたい。対雁に関わるようになって、樺太アイヌの悲劇が鮮明になったときにアイヌだけじゃなくて日本人も一緒になって供養やってくれたり調べてくれたり情報くれたり、俺としてはやり続けていく理由しかないなって思った。そこを知った以上は捨てていけない。自分たちの先祖のことだから。

俺が樺太アイヌのTですって言い始めて、アイヌのことやり始めたのは28~29歳のとき。樺太アイヌから言えることは、以前から交易のルートとして昆布とか朝廷のほうまで届いてたり…昆布なんかは沖縄まで行ってるし。日本の食文化で本州にはないしょ。そういう交流とか交易とか、過去のことを見るとしたらエンチウと北海道アイヌはどういう関わり合いしてたかっていうのは文献とかにいっぱい載ってるし、調べようと思ったらいっぱい調べられるし。俺が今やってるのは、稚咲内で樺太アイヌ協会として人口調査をやってる。今2次までやって、これから3次目やんなきゃなんだけどさ、ただやっただけじゃなくて残していくために根気強くやっていく。俺たちはこっちに引き揚げてきたわけじゃないからさ。日本人は引き揚げてきたけども。日露戦争が終わって樺太の人が引き揚げたときに、何十箇所にもいた何千人は樺太内の10箇所に強制移住させられた。それが多蘭泊だったりシスカだったりヒロッチだったり…うちは宗谷に昭和20年8月20日に逃げた。樺太・北方領土にロシアが攻めてきた。沖縄だけが日本で唯一地上戦が行われたってみんな講演で言うんだけど、それは違うよって否定させる。樺太はそのとき日本領だったから、そんなかで地上戦が行われてるから…身内も亡くなってるし。8月15日が終戦記念日って言われてるけど、それ以降だから。それ以降に…留萌沖でもそうだし…ロシアの潜水艦に沈められて何千人も亡くなってるし。そういうの語り継ぐ人いないと誰も言わないしょ。日本人もそのとき40万人くらいいたから同じなんだけど。連れて行った朝鮮人とかは置き去りにして、対雁に来た樺太の人たちは日本人化してこっち来て、樺太にいたアイヌも昭和8年まではロシア人でも日本人でもないから、日本人化して一緒にこっち来た。そのとき来たのが俺たちなんだ。うちらは宗谷に来てからは、松前行ったり余市行ったり様似行ったり小樽行ったり北見枝幸行ったり、最後にみんなで村づくりをしようという情報が来て村づくりをした。戦後でも余市とか小樽に樺太アイヌの人がいっぱいいるし、親戚もいる。その人たちの大半は協会にも入ってない。支部がないしょ、協会がないから。あるのは豊富支部だけ。

聞き手 : 人口調査の結果は…現段階で何人くらいいるんですか？

T.Mさん：ざっと1,500人。今の段階でね。まだ増える。その内訳は…ロシア人はR、エンチウはE、北海道アイヌはH、日本人はNとかって分けてる。それは本当に大変なもんだっていうのは、しないとわかんないと思うけど、すごいことだと思う。自分のルーツを遡っていったら、こういう繋がりができてきて見えてきた。対雁の代表みたいな人がEっていうんだけど、末裔がK.Tっていうんだけど、その子どもが…Eの孫がね、N.Kっていうんだけどさ、その人と…俺のおふくろO.Rっていうんだけど、従兄弟どうしだったっていうのが…調べてったらそういうのがわかってきた。Eっていうのは、宗谷から対雁に向かうとき…船の中で亡くなってる。

聞き手：本読んでたら、Y.Yさんという人がよく出てくるけど、関係は何かある？

T.Mさん：あの人は、まだ子どものときに強制移住させられて、日本の教育を受けて、それを良しとして学校を建てた。それに対し俺は反対なの。だって逆でしょ？アイヌ学校ならわかるけど。同化政策の形として日本政府としてはいいけど、アイヌの中でそれを評価していいのかなって。捉え方としては逆だなって。YさんとH.Sさんは、南極探検行って帰ってきてるでしょ？帰ってきてアイヌの学校作ったりしてるんだけど、帰ってきた時に2人は糾弾を受けてる。チャランケ（償い）させられてる。なんでだかわかる？それは連れてった犬が一頭も帰ってこなかったから。何十頭も連れて行って。樺太アイヌにとっては、犬というのは食料であったり労働犬であったり…犬ぞりもあるし、馬じゃないけど労働犬なのよ。それだけ必要なのよ。それを何十頭も差し出したのに、一頭も帰ってこないのはどういうことだっていうので糾弾を受けたのさ。それだけじゃなくて、探検隊の数十人が着てた防寒具は犬の毛皮なの。まだ若い犬の毛皮なの。ということは1人分つくるのに十何頭かかる、それ掛ける人数分だよ。それを見た人たちからしたら、食料もない。YさんとかHさんは評価されて本まで出していいかもしれないが、そこにいた人たちは裏切り者だよ。俺はそう思った。それこそ文献でしかないけど、H2さんに要請されて最初国でやるっていったのが、いざ行く段階になったら金出さなくなって…あとから出さなくなっていったからには結局行って、最終的には犬を一頭も帰ってこなかった。これは裏切りだよな。

自分でアイヌのことをやるようになってから…オホーツクの天塩に川口遺跡ってあるんだけどそれを見たり…枝幸とかもあるんだけど、そういうところも樺太の繋がりがあつたのを見てきたし、樺太に行って遺跡だとか学者と

かに聞くと…タライカ湖って大きな湖あるんだけど、海に近いところはカキとかいっぱいあって、今はもうないけど1,200年前はそれを主食にしてたエンチウがそこに住んでた遺跡があるんですよ…って。そうやって一つひとつ解き明かしていくと、親父たちからは稚内ばかりでなくて自分たちの親戚関係は余市とか小樽、浜益とかこっちのほうにいて、戦前から交易してたんだよって聞いた。ニシン獲れた時もやん衆が入ってきたり、樺太にももちろん酒粕作るところがあったり、そういう加工場があったり、そういうところ見ても日本海側のアイヌの関わりは強いだろうなって思った。841 人の人たちが、いろんな人がいるなかで…想像だけど日本語しゃべれない人もいるなかで、たった3カ月で説得して連れてくるっていうことが想像できない。一千人近い人がさ、東海岸の。鉄砲突きつけられたり、餌付けだよな。生きていくために食わなきゃいけないんだから従わざるを得ない状況だったんだよな。稚内内にも1960年代でも食べていくのは…じゃがいもとかばかりだったから…米とかなかったからさ。その時代でさえそういうものしかなかったのに、その100年以上前ならなおさら食べ物がないときで、強制的じゃないよ…っていう学者とかいるけど、そんな納得して移住してくるかって。何人かに聞き取りしたら強制移住なんて言葉出なかったって。聞き取りかたもあるだろうけどさ。まして日本人化されて判断できない人に聞いたって、失礼かもしれないけど80、90（歳）になる人たちは日本語もろくに書けない人が多かった。なぜかしたら、うちの親父が役所の文書とか代筆してたから。そういうの見てたし。まして強制移住になった人の名前なんて、みんな自分で書いてないから…みんな代筆だから。それでこの人たちが書いたって言われて、誰が信用する？日本語もちゃんとしゃべれない人が、どうやって書く？日本人でさえ、明治初期なんて日本語書けない人いたんだから。

Nさんは…俺のおふくろとNさんのおふくろが従兄弟どうし。SさんがNさんの姪っ子。俺の息子は大学で樺太アイヌを専攻して勉強してるし、娘は美容師になって、ファッションショーで樺太アイヌの文様取り入れたりして、踊りとかできないけど精神は樺太アイヌのことを伝えて育ててる。樺太アイヌのTって言い始めて30年だからね。エンチウって言い始めたのは最近だけど、そうやって仲間が入り始めたり、仕事仲間の90何パーセントの人はみんな知ってるし、こないだのミュージックコンサートにも来てくれたりしたし。

聞き手 : 樺太のイナウって、北海道とどう違うのですか？作りかたとかは先輩方に教わったりされたんですか？

T.Mさん：実物は見たことないので写真でしか見たことないけど、北海道の何倍もあるのは見た。いろんな種類があって、手間いっぱいかかる。対雁のときには、百歩譲ってF2先生に1回教わって作り方を覚えた。近くにいる人が、そういう樺太の技術を伝えていってくれたらいいなと思ってる。